

# あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

## 主な記事

- ①あつひやく第1回報告
- ②生涯学習講演会／厚真にぎわい会議
- ③ディスカバリーカルチャー／厚真高校でのスケート授業／1月定例教育委員会のスケート授業／1月定例教育委員会
- ④第43回厚真町スケート記録会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

## 100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト 厚真の教育の未来を考えるあつひやくミーティング開催

1月30日（火）に、これまでの取組を振り返るとともに、これからの厚真町の教育について、立場を越えて皆さんと一緒に語り、考え合う場である「あつひやくミーティング（100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト）」を厚真町総合福祉センターで開催し、役場職員や町民、厚真町に関係のある方々等、町内外から17人が参加しました。第1回目では、昨年度の振り返り及び今年度の取組についての報告と厚真町の魅力、強みや厚真町の子どもたちへの願いや想いについてのワークショップを行いました。



参加者の自己紹介タイム



全体での共有の様子

グループで分かれて実施したワークショップで出された意見は、最後に参加者全員で共有しました（下記参照）。参加者からは、「未来の子どもたちを育てる方向性を町民がみんなで考える空間にしたい」「異業種の方々との出会いを通して、新しい視点を得られる場になるといい」などの感想をいただき、今後の開催につながる時間になりました。次回の開催は、2月27日（火）を予定しています。詳細、申し込みについては、下記QRコードよりご確認ください。

### 【厚真町の強み・魅力】

自然が豊か（森、海、山、野生動物等）、サーフィン、人を受け入れる、包容力、食べ物がおいしい、アクセスがいい（新千歳空港、フェリー等）、BBQ文化、雪が少ない、自治会活動が盛ん、晴れの日が多い、朝も夜も静か、外から人が集まる、チャレンジできる、農林水産業、人がおもしろい、星がきれい、無料の施設がたくさんある…など

### 【厚真町の子どもたちへの願いや想い】

町のよいところを一つでも知ってほしい、サバイバル力、たくさん失敗してほしい、自分の好きなことを見つけしてほしい、外の世界にも触れてほしい、たくさんの人と出会ってほしい、選択肢をたくさん見つけてほしい、学び続けてほしい、厚真で育ったことを忘れずにいてほしい、チャレンジしてほしい…など



申込フォーム



詳細について

# 生涯学習講演会を開催します！ シンガーソングライター佐藤広大さんが厚真町へ

教育委員会では、広く町民に対して、生涯にわたって学びを深める機会を創出することを目的とした生涯学習講演会を開催します。今回は、LDH Records に所属するシンガーソングライターの佐藤広大さんを講師としてお招きし、歌手を目指そうと思ったきっかけや、現在取り組んでいる「あおぞらプロジェクト」、そして、これからの夢についての講演をしていただく予定です。

詳細については、下記ホームページ及び町内掲示のポスター等をご確認ください。たくさんのご参加、お待ちしております。

## 【詳細について】

日時：3月9日（土）10:30～12:00  
 場所：総合ケアセンターゆくり  
 対象：町内在住の方ならどなたでも  
 申込：右記QRコードから申し込みをお願いします  
 ※社会教育G（27-2495）まで電話申し込みも可

QRコード以外での申し込み及び問合せ  
 社会教育グループ ☎27-2495



申し込み  
フォーム



ホーム  
ページ情報

厚真町生涯学習講演会

# 夢

は天国からのギフト  
 講師 佐藤広大さん  
LDH Records所属  
 (シンガーソングライター、ラジオD)

**3月9日(土)**  
 時間：10:30～12:00  
 場所：総合ケアセンターゆくり  
 (参加費無料)



**【講師紹介】**  
 高校生の頃天国に転じた親友と約束した歌手になることを実現し、そんな夢に対しての恩返しとして、母や姉と共働きをしながら「夢」を叶えたいと夢を語り、数人の子供を育てていく中で夢を叶えたいと夢を語り続けている。

また、北海道の子供達を支援する「あおぞらプロジェクト」を立ち上げ、北海道の公認に賛同を募るなど、ボランティア活動も積極的に取り組んでいる。

**○主な活動**  
 ・北海道の子供達を支援する「あおぞらプロジェクト」の立ち上げ  
 ・北海道の公認に賛同を募るなど、ボランティア活動も積極的に取り組んでいる。

申し込みフォーム

QRコード以外での申し込み及び問い合わせ  
 厚真町教育委員会 TEL 0145-27-2495



## 「厚真にぎわい会議」

### ～ たくさんの方の皆さんに参加してもらいました！ ～

2月7日（水）厚真町総合福祉センターで、「厚真にぎわい会議」が開催され、中学生や高校生の若い世代から高齢の方まで、多くの町民が参加しました。

この会議は、役場庁舎周辺の老朽化した公共施設を集約し、防災力の向上や町民に親しまれ、たくさんの方で、にぎわう場所となる施設を整備するために、町民の皆様と一っしょに話をしながら、アイデアを出していく場です。会場には新たに整備する役場庁舎周辺をイメージした模型や映像を見ながら、自分だったら「どのように過ごしたいか」や「こうしたらもっと人が集まるかな」といったイメージを膨らませて、付箋紙に書いて模型に貼ってもらいました。とくに町民の方が使う機会が多い文化交流施設や広場に対するアイデアが多く出され、中学生や高校生からは、「図書館ができれば、静かに学習するスペースがほしい」、「親に負担をかけないで子どもたちだけで集まれる場所にしたい」などの意見が出ました。

また、今回出た意見は、その場でタブレットを使いイラストを描き、皆さんで共有することで、より具体的なイメージを膨らませることができました。

将来に向けてワクワクした意見がでる一方で、人口減少の中、多くの予算を使って、新たに庁舎周辺整備をすることに不安を持たれている方の意見も聞かれました。町民の皆さんの不安な点も解消したうえで、新庁舎等の整備を進めていければと思います。

庁舎周辺等整備に関するご意見やご質問がありましたら、下記担当までご連絡ください。

【担当】厚真町総務課庁舎周辺等整備推進室  
 池川 ☎27-2322



町民の皆さんと意見を出し合う様子

# 第4回ディスカバリーカルチャー ギター愛好家が集結！ プラネタリウム×ギター

教育委員会は、1月20日（土）、第4回目となるディスカバリーカルチャー（プラネタリウムの投影に合わせて多種多様な学びの機会を提供する取組）を開催しました。今回のテーマはギター。地域おこし協力隊で厚真高校公営塾のスタッフでもある加藤千昇さんを講師として招き、参加者がmyギターを持参して日ごろの練習の成果を披露したり、参加者同士で教え合ったりするなどを行い、町民14人が参加しました。

会の途中では、昨年、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から5年が経過した厚真町の復興応援ソングとして、札幌市出身のシンガーソングライター、半崎美子さんが制作した「大地の息吹」についても紹介しました。これから、町民の皆さんや町内の小中学校でも、この曲に触れていく機会をたくさん設けていくきっかけになればと思っています。



参加者が演奏を披露している様子

## 厚真高校生が 町民スケートリンクでスピードスケート体験！

2月6日（火）、8日（木）の2日間、町民スケートリンクで、厚真高校の2年生17名がスピードスケートの体験をしました。苫小牧から通学する生徒の大半は、スピードスケートが初めてで、最初は立つこともできず、椅子につかまっていたのですが、町民ボランティアの指導のもと、30分程で椅子につかまらなくても滑れるように上達していました。靴ずれを起し、足が痛くなってしまう生徒もいましたが、2日目には慣れてきたのか、スピードを出して競争する生徒もいました。

厚真町の生徒にとっては、スピードスケートはお手の物で、同級生のお手本となり、また疲れた生徒の椅子を押すなど大活躍でした。スピードスケートを体験した生徒たちは「今度、みんなでスケートに行こうよ」と楽しそうに話していました。



滑り方について教わる厚真高校生

## 1月定例教育委員会

1月24日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項 町道幌内左岸線改良工事埋蔵文化財工事立会／町民スケートリンク開設／スケート靴貸出開始／厚真未来カレッジ特別講演「ブラックホールの神秘に迫る」／令和5年度第2回厚真町二十歳のつどい／長期休業中の小中学校学習会／放課後子ども教室特別教室／冬休みスケート教室／まが玉づくり
- ◆議 案 厚真町立学校管理規則の一部改正について
- ◆協 議 令和6年度当初予算の概要について／総合教育会議について
- ◆そ の 他 各学校への卒業式、入学式への教育委員の出席について／令和5年度胆振管内教育委員会委員研修／厚真町アイヌ施策推進地域計画について／他2件

★問 合 せ 教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

# 第43回厚真町スケート記録会

1月27日(土) 町民スケートリンクにて、第43回厚真町スケート記録会を開催し、34人の児童生徒が参加しました。当日は残念ながら、前日から続いている気温上昇の影響でリンクホームストレート(管理棟側)が溶け出してしまったため、長距離の種目については距離を100mに変更して実施することになりました。

滑る距離は減ってしまいましたが、出場した選手の皆さんは日頃の練習成果を存分に発揮していました。また、各種目の入賞者表彰では遠藤教育長から選手へメダルが授与され、満面の笑みを見ることができました。

出場選手の主な記録については、下記をご覧ください。



滑走中の子どもたち



入賞者表彰→

## 第43回厚真町スケート記録会成績

敬省略

《100㍎》 へ変更	【小学男子】	《50㍎》	▽1年①吉能 拓真 (中央) ②渡辺 翔太 (上厚真)
		《100㍎》	▽2年①木本 翔琉 (中央)
			▽3年①志田 康太朗 (中央) ②中島 千太郎 (上厚真)
		《250㍎》	▽2年①木本 琉維 (中央)
			▽3年①大垣 謙心 (中央)
		《500㍎》	▽2年①大友 晴仁 (中央) ②宮 幸志郎 (中央)
			▽3年①飯田 拓充 (中央)
			▽4年①金子 春樹 (上厚真) ②内沢 慶翔 (上厚真) ③海沼 信之介 (上厚真)
			④宮 伸太郎 (中央) ⑤窪田 拓磨 (中央)
			▽5年①柿崎 音羽 (中央) ②鎌田 宗輔 (中央)
《100㍎》 へ変更	【小学女子】	《50㍎》	▽1年①佐藤 旭 (中央)
		《100㍎》	▽1年①南部 真結華 (中央)
			▽2年①渡辺 月乃 (中央) ②宮下 あかり (中央)
		《250㍎》	▽1年①中田 芙緑 (中央) ②久保 若菜 (中央)
			▽3年①浅井 碧優 (上厚真)
		《500㍎》	▽2年①荒山 千咲 (中央) ②菅原 一乃 (上厚真)
			▽4年①浅井 優杏 (上厚真) ②北村 波瑠 (中央) ③加勢 杏奈 (中央)
			④鎌田 芽依 (中央)
			▽5年①森崎 稟 (上厚真)
			▽6年①加勢 愛理 (中央)
【中学女子】 《100㍎》 へ変更	《500㍎》	▽1年①北島 千聖 (厚南) ②菊池 莉多 (厚中)	
	【スラローム走】	▽小学1・2年①菅原 一乃 (上厚真) ②宮 幸志郎 (中央)	
		▽小学3・4年①飯田 拓充 (中央) ②浅井 優杏 (中央) ③志田 康太朗 (上厚真)	

# 図書室だより

## 本屋大賞 2024 ノミネート作品の紹介

今年も全国の書店員が選ぶ本屋大賞の季節がやってきました。図書室でも昨年同様にノミネートされた10タイトルを揃えます。ぜひ、ご自身で読んでみて、これだと思う作品を見つけてください。気になる、本屋大賞の発表は4月10日となっています。

- ◆黄色い家 川上未映子／著
- ◇君が手にするはずだった黄金について 小川哲／著
- ◆水車小屋のネネ 津村記久子／著
- ◇スピノザの診療室 夏川草介／著
- ◆存在のすべてを 塩田武士／著

- ◆成瀬は天下を取りにい く 宮島未奈／著
- ◇放課後ミステリクラブ 知念実希人／著
- ◆星を編む 凧良ゆう／著
- ◇リカバリー・カバヒコ 青山美智子／著
- ◆レーエンデ国物語 多崎礼／著



図書室のちょっとした話

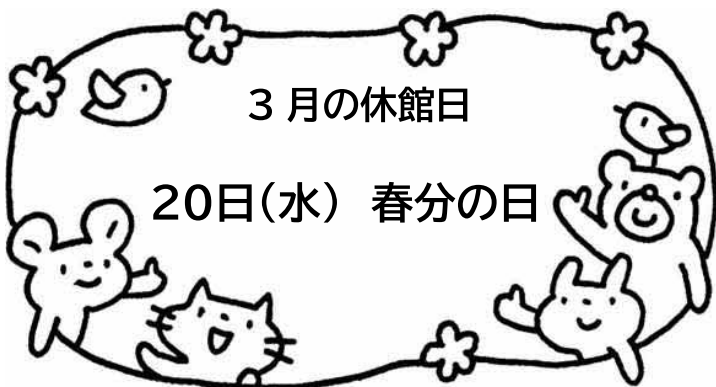


### 「絵本をどうやって並べるか」問題

図書館において、絵本をどうやって並べるかはどの図書館でも、これという答えが見つからない難しい問題です。

厚真町では、絵本のタイトル順で並べていますが、他の図書館では作った人の名前順で並べたり、書店のように出版社ごとに並べたりしている図書館もあります。作った人の名前順といっても、文章を書いた人なのか、絵を描いた人なのかでまた分かれることもあります。

例えば、「でんせつのおきよだいまんまをはこべ」は文サトシン、絵よしながこうたくという小学生にも人気の作品です。子どもたちがこの絵本を探す時、サトシンやよしながこうたくの名前で探すかという、探せないと思います。「子どもたちは作家名をあまり気にしていないのでは」ということで、厚真町ではほとんどの絵本をタイトル順で並べています。ただ、タイトル順の弱点は、タイトルがわからないと絵本が探せないところです。使いやすい絵本の並び方を思いついた方はぜひ、図書室まで教えてください。



- 青少年センター図書室開館時間
  - 9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)
  - 9時00分～19時00分(火・木)
  - ※祝日、年末年始は休館となります。
- 厚南会館図書室
  - 9時00分～17時00分(月～日)
  - ※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

3月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、  
 28日(木) 10時00分から10時30分まで  
 場所：青少年センター 絵本コーナー

# ☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

吸い込むと肺まで冷たくなるような空気。吹き抜ける風はとても冷たく、子どもたちのほっぺたを赤くします。厚真の冬らしい寒さを肌で感じながら、それでも、雪遊びを楽しむ子どもたちの姿を見ると、「子どもは風の子だな」と実感する毎日です。

2月の子ども教室は、季節ならではの遊びとして、雪遊びをメインとしたプログラムを行いました。スキーウェアを着込み、帽子と手袋も準備OK。モコモコした装いで、スノーブーツを履いて、足元を整えるのはひと苦労ですが、長く雪遊びを楽しむためには、足元の準備を怠ってはいけません。雪が靴の中に入らないよう、しっかりとカバーをして、真っ白な世界に出発です。グラウンドや学校林には、先月末に降り積もった雪が子どもたちの膝丈ほどに残っています。思いの外、深い積雪に、一步一步、前へ進むだけでも良い運動です。目的の場所へたどり着くと、雪の斜面で尻滑りやソリ滑りをしたり、木登りをしたり、雪原に基地をつくったりと、子どもたちは自分の興味関心に合わせて、思い思いに遊び始めます。雪が深く残っている場所では、ソリ滑りが人気でした。ソリで滑っていくと、フカフカの雪がパッと舞い、子どもたちの顔を照らします。何度も斜面を登っては滑り、また登って滑るを繰り返し、帰る頃にはもうクタクタ。「疲れたー！お腹すいたー！！」と、雪の上に大の字に寝転ぶ姿がとても可愛らしかったです。きっと、夜もぐっすり眠れたことでしょう。

ときに厄介者と感じる雪ですが、子どもたちの遊び場づくりをしては、最高の素材であり、土地ならではの季節感を養う素晴らしい教材です。風邪をひかないよう、上手に体温調節をしながら、子どもたちには雪遊びをたくさん楽しんでほしいと思います。2月の後半には、林業家の永山さんや、西埜馬搬さんにもご協力をいただき、地域の資源を活かした雪のあそび場づくりも予定しています。多くの子どもたちが参加してくれることを願っています。

さて、今年度の放課後子ども教室の活動も、残りわずかとなってきました。そこで、今年も1年間の子どもの教室の活動を振り返る『活動報告会』の開催を予定しています。下記のとおり、2024年3月16日(土)12時から、総合ケアセンターゆくり2階介護学習室にて開催します。子ども教室に参加している子どもたち、保護者の方はもちろん、地域の方々など、どなたでもご覧いただけます。子どもたちがどのように放課後の時間を過ごしているか、写真のスライドショーやクイズを交えて、楽しんでいただける内容となっておりますので、ぜひ、お気軽にご来場ください。



## 【放課後子ども教室2023年度活動報告会】

- ◆日時：2024年3月16日(土) 12:00~13:00
- ◆会場：厚真町総合ケアセンターゆくり2階介護学習室
- ◆申込み不要・参加費無料(当日、会場へお越しください)
- ◆お問合せ：厚真町教育委員会生涯学習課社会教育グループ  
(0145-27-2495)

ご参加、

お待ちしております！

